



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

東

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所
 コード番号 9384 URL <http://www.ntl-naigai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 平成27年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け及び個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	11,364	17.9	780	141.7	776	142.6	473	—
26年12月期第2四半期	9,639	28.5	323	△31.3	320	△37.3	△407	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 527百万円(—%) 26年12月期第2四半期 △485百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	44.30	—
26年12月期第2四半期	△38.10	—

(注) 当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	9,796	7,664	74.6
26年12月期	9,166	6,977	75.1

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 7,305百万円 26年12月期 6,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	13.00	—	20.00	33.00
27年12月期	—	30.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	10.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 27年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成27年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、27年12月期(予想)の期末配当は株式分割後の金額になっております。

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	4.5	1,500	31.0	1,500	24.2	1,000	362.4	93.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 内外銀山ロジスティクス株式会社、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	10,698,000株	26年12月期	10,698,000株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	930株	26年12月期	930株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	10,697,070株	26年12月期2Q	10,697,172株

(注) 当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、良好な企業収益や個人消費の持ち直し等により引き続き緩やかな回復傾向を示しながら推移いたしました。

また、当社業績に大きな影響を及ぼすわが国の貿易については、輸出において中国、EU向けが低調であり、新興国経済も停滞気味であったものの、米国はじめ海外景気の緩やかな成長により、不透明感を残しながらも対前年比において増加を示しております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画の2年目となる当期において、戦略方針に沿って努力を積み重ねた結果、当第2四半期連結累計期間において、単体では、主力の輸出混載輸送売上が対前年同四半期比で数量、金額とも上回って推移し、輸出フルコンテナ輸送売上や航空輸送売上においても前年実績を大きく上回りました。一方、連結子会社においても、国内、海外ともおおむね増収増益となり連結業績に寄与いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,364百万円（前年同四半期比17.9%増）、営業利益は780百万円（同141.7%増）、経常利益は776百万円（同142.6%増）、四半期純利益は473百万円（前年同四半期は△407百万円）と、売上高、利益とも前年同四半期を大幅に上回りました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日 本

日本セグメントでは、単体において、輸出フルコンテナ貨物輸送売上高が対前年同四半期比において31.6%増と大きく増加したのをはじめ、航空輸送売上高が167.4%増と躍進し、主力の混載貨物輸出売上高も同5.1%増となり堅調に推移いたしました。また、国内子会社株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンにおいては、関空、成田両空港における通関業売上が寄与したのをはじめ航空輸送も順調で、大きく売上を伸ばしました。

この結果、売上高は、7,722百万円と前年同四半期と比べ911百万円（13.4%増）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は385百万円と前年同四半期と比べ52百万円増加（15.6%増）となり、増収増益となりました。

②海 外

当社グループはアジア地域及び米国に9つの連結子会社を有しており、これらの子会社での売上は日本からの貨物の取扱が中心となります。当第2四半期連結累計期間における海外売上は、必ずしもアジア諸国の経済状況が上向きでない中、当社日本発輸出貨物の増加や各子会社の独自の販路開拓等により、中国、タイ、韓国などで大幅増となり、その他の連結子会社においても概ね順調に推移しております。

この結果、売上高は、3,641百万円と前年同四半期と比べ813百万円（28.8%増）の増収となり、また、セグメント利益（営業利益）は407百万円と前年同四半期と比べ385百万円増加（1,680.2%増）し海外セグメントにおいても増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9,796百万円（前連結会計年度末比629百万円増加）となりました。増加の内訳は、主に、現金及び預金の増加871百万円及び有価証券の減少100百万円、流動資産その他の減少139百万円等による流動資産の増加562百万円等によるものであります。

負債は2,131百万円（同58百万円減少）となりました。減少の内訳は、主に、流動負債の減少119百万円（未払法人税等の減少145百万円及び買掛金の増加69百万円等）及び退職給付に係る負債の増加15百万円等による固定負債の増加61百万円によるものであります。

また、純資産は7,664百万円（同687百万円増加）となりました。増加の内訳は、主に、利益剰余金の増加366百万円及び少数株主持分の増加270百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前第2四半期連結会計期間末に比べ1,770百万円増加し、5,585百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は691百万円（前年同四半期比363百万円増加）となりました。主な資金の増加は税金等調整前四半期純利益の計上774百万円、主な資金の減少は法人税等の支払346百万円等であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、36百万円（同80百万円増加）となりました。主な資金の増加は有価証券の償還による収入100百万円、主な資金の減少は有形固定資産の取得による支出54百万円等であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、130百万円（同283百万円増加）となりました。主な資金の増加は少数株主からの払込による収入266百万円、主な資金の減少は配当金の支払額107百万円及び短期借入金の減少28百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、中国経済やEU経済が不透明な要素を内在する中、足踏み状態とされるわが国の景気にも悪影響を及ぼす可能性は残りますが、当面、米国経済の着実な回復に支えられ、とりわけ輸出において大きく下振れするリスクは少ないと見込んでおります。

このような状況の下、当社グループは、当第2四半期以降、中期経営計画に掲げる諸施策を確実に実行することにより、2016年12月期の中期経営計画最終年度に向け、目標達成のため一層の努力を傾注いたす所存であります。

当連結会計年度（平成27年12月期）の通期連結業績見通しにつきましては、平成27年2月10日に公表いたしましたとおり、売上高21,000百万円（前連結会計年度比4.5%増）、経常利益1,500百万円（同24.2%増）、当期純利益1,000百万円（同362.4%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、当四半期連結会計期間において、2015年6月1日に設立した内外銀山ロジスティクス株式会社を連結の範囲に含めております。

新たに連結の範囲に含めた子会社の概要

- | | | |
|---------|--|-----|
| ① 会社名 | 内外銀山ロジスティクス株式会社
(NAIGAI-EUNSAN LOGISTICS CO., LTD.) | |
| ② 代表者 | 岩貞 均 | |
| ③ 資本金 | 80億ウォン | |
| ④ 出資比率 | 内外トランスライン株式会社 | 70% |
| | 銀山海運航空株式会社 | 30% |
| ⑤ 設立年月日 | 2015年6月1日 | |

なお、事業開始は2016年9月を予定しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用しておりますが、退職給付債務及び勤務費用の計算方法に変更はありません。

この結果、当第2四半期連結累計期間での損益及び純資産に与える影響はありません。

(4) 追加情報

法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布されたことに伴い、平成27年4月1日以降に開始する事業年度から法人税率等が変更されることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、平成28年1月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等については従来の35.5%から33.0%に、平成29年1月1日以降に解消が見込まれる一時差異等については35.5%から32.2%にそれぞれ変更されます。

その結果、当第2四半期会計期間末の一時差異等を基礎として再計算した場合、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が996千円減少し、法人税等調整額が4,490千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,714,483	5,585,491
受取手形及び売掛金	1,535,166	1,466,550
有価証券	200,000	100,000
その他	546,360	406,813
貸倒引当金	△3,124	△3,869
流動資産合計	6,992,886	7,554,985
固定資産		
有形固定資産	639,065	694,478
無形固定資産		
のれん	773,686	731,263
その他	74,362	77,674
無形固定資産合計	848,049	808,938
投資その他の資産		
その他	1,012,187	1,069,795
貸倒引当金	△325,355	△332,187
投資その他の資産合計	686,831	737,608
固定資産合計	2,173,946	2,241,025
資産合計	9,166,832	9,796,011
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,117,280	1,186,607
短期借入金	28,500	—
未払法人税等	329,871	184,792
賞与引当金	10,027	16,912
その他	350,671	328,748
流動負債合計	1,836,351	1,717,060
固定負債		
退職給付に係る負債	175,679	191,385
その他	177,195	222,689
固定負債合計	352,874	414,074
負債合計	2,189,226	2,131,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	233,937	233,937
利益剰余金	5,884,542	6,251,435
自己株式	△467	△467
株主資本合計	6,361,949	6,728,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,774	71,780
為替換算調整勘定	483,185	504,380
退職給付に係る調整累計額	△666	—
その他の包括利益累計額合計	526,294	576,161
少数株主持分	89,363	359,872
純資産合計	6,977,606	7,664,876
負債純資産合計	9,166,832	9,796,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	9,639,841	11,364,697
売上原価	6,967,035	8,290,715
売上総利益	2,672,805	3,073,981
販売費及び一般管理費	2,349,731	2,293,090
営業利益	323,073	780,890
営業外収益		
受取利息	14,842	13,362
為替差益	—	13,261
不動産賃貸料	7,727	10,871
その他	8,401	13,770
営業外収益合計	30,971	51,266
営業外費用		
支払利息	15,139	351
不動産賃貸費用	2,481	2,458
為替差損	8,696	—
支払手数料	5,179	49,964
その他	2,498	2,972
営業外費用合計	33,995	55,747
経常利益	320,049	776,409
特別利益		
固定資産売却益	2,733	102
投資有価証券売却益	9,493	—
特別利益合計	12,226	102
特別損失		
固定資産除売却損	228	1,551
のれん償却額	294,590	—
投資有価証券評価損	102,259	—
貸倒引当金繰入額	84,600	—
訴訟損失引当金繰入額	82,490	—
特別損失合計	564,168	1,551
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△231,892	774,959
法人税、住民税及び事業税	222,609	202,479
法人税等調整額	△55,580	89,160
法人税等合計	167,028	291,639
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△398,920	483,320
少数株主利益	8,636	9,455
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△407,557	473,864

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△398,920	483,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,964	28,005
為替換算調整勘定	△79,345	15,872
退職給付に係る調整額	—	666
その他の包括利益合計	△86,309	44,544
四半期包括利益	△485,230	527,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△491,886	523,731
少数株主に係る四半期包括利益	6,655	4,132

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△231,892	774,959
減価償却費	44,832	39,655
のれん償却額	63,109	42,688
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,496	6,787
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	16,690
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,600	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	359,286	2,431
受取利息及び受取配当金	△16,632	△16,876
支払利息	15,139	351
為替差損益(△は益)	11,216	△5,269
固定資産除売却損益(△は益)	△2,504	1,449
のれん償却額(特別損失)	294,590	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,493	—
投資有価証券評価損益(△は益)	102,259	—
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	82,490	—
売上債権の増減額(△は増加)	△159,001	78,774
仕入債務の増減額(△は減少)	8,215	62,922
未払費用の増減額(△は減少)	△1,974	△22,241
その他の資産の増減額(△は増加)	33,673	44,286
その他の負債の増減額(△は減少)	△68,363	17,437
その他	705	△1,568
小計	537,751	1,042,478
利息及び配当金の受取額	16,626	16,355
利息の支払額	△15,139	△351
訴訟和解金の支払額	—	△20,000
法人税等の支払額	△210,938	△346,796
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,299	691,685
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,846	△54,400
有形固定資産の売却による収入	3,512	739
無形固定資産の取得による支出	△3,457	△14,095
投資有価証券の取得による支出	△20,520	—
貸付金の回収による収入	10,150	10,238
有価証券の償還による収入	—	100,000
資産除去債務の履行による支出	—	△530
その他	△10,780	△5,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,941	36,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△41,405	△28,800
配当金の支払額	△106,992	△107,357
少数株主からの払込みによる収入	—	266,880
その他	△4,760	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△153,158	130,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69,328	11,984
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	61,871	871,008
現金及び現金同等物の期首残高	3,752,970	4,714,483
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,814,841	5,585,491

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,811,331	2,828,510	9,639,841	—	9,639,841
セグメント間の内部売上 高又は振替高	147,543	316,244	463,787	△463,787	—
計	6,958,874	3,144,754	10,103,629	△463,787	9,639,841
セグメント利益	333,550	22,916	356,466	△33,393	323,073

(注) 1. セグメント利益の調整額△33,393千円には、のれん償却額△33,449千円、及びその他調整額56千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間に連結子会社NTL-LOGISTICS(INDIA)PRIVATE LIMITEDの、のれん未償却残高294,590千円全額を償却しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,722,712	3,641,984	11,364,697	—	11,364,697
セグメント間の内部売上 高又は振替高	188,172	485,579	673,751	△673,751	—
計	7,910,884	4,127,563	12,038,448	△673,751	11,364,697
セグメント利益	385,563	407,953	793,517	△12,626	780,890

(注) 1. セグメント利益の調整額△12,626千円には、のれん償却額△12,631千円、及びその他調整額5千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成27年5月15日開催の取締役会決議に基づき、平成27年7月1日付をもって下記のとおり株式分割を行っております。

(1) 株式分割の目的

株式を分割することにより、当社株式の流動性を高め、投資家層の更なる拡大を図ることを目的とするものであります。

(2) 株式分割の概要

① 株式分割の割合及び時期

平成27年6月30日を基準日とし、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	5,349,000株
今回の分割により増加する株式数	5,349,000株
株式分割後の発行済株式総数	10,698,000株
株式分割後の発行可能株式総数	32,000,000株

(3) 株式分割の日程

基準日公告日	平成27年6月15日
基準日	平成27年6月30日
効力発生日	平成27年7月1日

新たな子会社の設立

当社は、平成27年7月30日に開催されました取締役会において、下記のとおり、当社香港現地法人である内外特浪速運輸代理(香港)有限公司(以下 NTL-香港)が出資し、中国・深圳において子会社(当社孫会社)を設立することを決議いたしました。

(1) 子会社設立の目的

当社グループは、現在、中国において上海内外特浪速運輸代理有限公司の傘下に、上海をはじめ4拠点を有し事業を展開しておりますが、当社グループ華南地域の機能を強化し、NTL-香港を中心とした一体化を確立するため、中国政府が自由貿易試験区として経済発展を推進する深圳に新会社を設立するものであります。

(2) 設立する会社の概要

商号	内外特浪速国際貨運代理(深圳)有限公司(仮称)	
所在地	広東省深圳市前海自由貿易試験区	
代表者	杉谷 忠幸	
事業内容	輸出入混載及びフルコンテナサービス、倉庫事業ほか	
資本金	550万人民元	
設立	2015年9月(予定)	
事業開始	2015年12月(予定)	
資本構成	内外特浪速運輸代理(香港)有限公司(当社子会社)	100%出資
当社との関係	当社孫会社となります。	